

まちづくり市民会議

提言書を提出 「バイオマス推進」部会



▲竜王山公園オートキャンプ場では、循環型社会の実践活動として、施設利用者が出した生ごみをすべて堆肥化し、有効活用しています。

「みんなで考えよう！環境実践！」

～ 環境にやさしいまちづくりのためのバイオマス推進 ～

まちづくり市民会議「バイオマス推進」部会（津田昭座長）では、バイオマスの利活用にとどまらず、環境、教育にも踏み込み、住みよいまちづくりを目指した市民活動のあり方についての提言書をまとめました。（次ページから掲載しています。）

【バイオマスタウン宣言に向けて一歩前進】

最近のガソリン価格の高騰で生活に影響のない人はいないと思いますが、このような時こそ地球温暖化防止を身の回りから、また、できることから取り組もうと考えた時、無駄を省き、使えるものは有効に使っていかうという一人ひとりの心がけが大切になります。例えば、家庭の生ごみを有効に活用するようになると、結果として市が処分するごみの量が減少し、ごみ処理施設の維持管理の負担も軽くなり、財政難の本市にとってもたいへんありがたいわけです。

▼ 6回にわたり開催された市民会議



今まで捨てていた
り特に注目されな
かったバイオマスを
一部の人だけでなく、
みんなで有効に活用
する循環の仕組みを
作り上げようという
のがバイオマスタウ
ン構想です。

今回の市民会議は5回の予定でしたが1回延長し、さらに、会議終了後も提案の中にある活動拠点の実現に向けて、今後も話し合っていこうという動きがあるのは大きな前進ではないかと思います。市民どなたでも集える活動拠点が形となるのもそう遠くはないでしょう。

【問い合わせ先 企画課 ☎ 82-1130】